

健康ニュース



設立40周年記念「JEOLグループ第26回ソフトボール大会」決勝戦(6月26日)

聞く健保、動く健保



互選理事 重永 邦博

皆さん、健保組合が今どんな事業を行なっているかご存知ですか。「健保組合」保健所という方も、少なくないと思います。もう既に多くの方が健保組合のホームページをご覧になっていると思いますが、まだ見たことがないという方は、ぜひ一度ご覧になってください。保健所事業も健保事業の一つではありますが、健保全体から見るとほんの一部の事業でしかありません。

健保組合は、私たちが生きていくうえで絶対に欠かせない存在です。これまで健康保険証を一度も使ったことはない、という人は皆無に等しいと思います。健康診断を受けたことがない人はいないと思います。健保組合の取組みの3本柱は、①病気になる身体作り(健康増進事業)、②病気の早期発見(検診事業)、③病気を怪我をしたときの救済(保険給付事業)であると私は理解しています。

理事だから言うわけではありませんが、日本電子健康保険組合は「聞く」健保、「動く」健保であると思います。「聞く」、「動く」という意味は何か。私が理解する健保事業3本柱に、積極的に取り組んでいる健保組合だと評価しているからです。例えば検診事業。ここ数年、色んな検診事業が増えてきたと思いませんか。ヘリカルCT、超音波検診、若年層の婦人科検診、肝炎ウイルス検査、そして人間ドック(45歳、50歳、55歳。歯科検診も2年に1回の定例集合検診に加え、随時検診を受けられるシステムを導入しています。また、生活習慣病検診(いわゆる成人病検診)については、その内容を見直し充実を図っています。他の健保と比較すると、格段に検診事業を充実させている健保組合です。そして今年から、インフルエンザ予防接種を行ないます。

新しく取り入れた事業のほとんどが、理事会や健保組合職員の皆さんからの問題提起から始まっています。こうした問題提起は、被保険者である皆さんの意見・要望が背景になっています。理事・議員や職員の方が、皆さんの意見・要望をしっかり受け止めて問題提起につなげているから、新しい事業に取り組めているのだと思います。数年前までは、財政が大変厳しく保健事業を削減し続けなければならない状況でした。ここ数年、財政状況も好転し、新しい事業に取り組めるようになったことができました。健保組合は、JEOLグループに働く皆さんと家族の健康を守るために存在し、日々努力しています。

ご自宅に持ち帰り、皆さんでお読みください。

平成17年度事業報告

決算

一般勘定4323万円の黒字、介護勘定1325万円の黒字

事業計画は全てを実施

去る7月12日に開催した第105回組合会において、日本電子健康保険組合の平成17年度事業報告および収入支出決算が認定されました。経常収支では4323万円の黒字を計上することができました。また介護勘定では1325万円の黒字を計上しました。事業計画は新規に取り組んだ事業も含め、全て実施いたしました。

財政状況

17年度は、保険料率を前年度の1000分の66から64に下げたこと、および被保険者の減少(約60名)もあって、経常収入は前年度よりも3731万円の減収となりました。経常支出は、保険給付費は前年度より4598万円の増加となりましたが、拠出金が前年度より4200万円減額されたこともあり、前年度より955万円の減となりしました。この結果、経常収支は4323万円の黒字を計上することができましたが、予算の8612万円の黒字計画に対しては大幅減となりました。

2 選択式遠隔検診の実施(10月)

従来は大腸がんのみの郵便検診を実施していましたが、さらに前立腺がん検査等4項目を加え個人負担1、000円で実施し174名の利用者がありました。

3 東京支店で超音波検査の実施

4年目を迎えた超音波検査を昭島製作所だけでなく、東京支店で実施しました。これにより、営業・サービスの受診者が増加しました。

介護勘定における収入面では、第2号被保険者数がほぼ予算どおりであり、保険料率を1000分の9から10にあげたこともあり1325万円の黒字となりました。

決算数値に関する詳細は、別表を参照ください。

事業運営

17年度も、事業計画に盛り込んだ事業は全て実施しました。

保健事業は、組合員の健康維持のため、新たに次の事業に取り組みました。

1 海外駐在員向け家庭用常備薬の配布

海外駐在員からの要望に基づき検討

平成17年4月施行の個人情報保護法対応については、5月に鍵つきの机・ロッカーに変更し、入口にカウンターおよび扉を設置する等の改装によりハード面を充実すると共に、外部団体による「健保業務個人情報保護講座」を役職員全員が受講することによりソフト面にも万全を期しました。

上部団体である健康保険組合連合会が毎年行っているホームページコンテストに応募し、16年11月開設の当健康保険組合ホームページが佳作に入賞いたしました。

平成17年度 収入支出決算概要表

収入

一般勘定

支出

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
健康保険収入	1,308,257	1,343,424	△35,167
保険料	1,307,472	1,342,610	△35,138
国庫負担金収入	785	814	△29
徴収金	0	0	0
調整保険料※	25,202	26,537	△1,335
繰入金	0	0	0
退職積立金繰入	0	0	0
別途積立金繰入※	0	0	0
国庫補助金収入※	0	0	0
財政調整事業交付金※	16,983	11,298	5,685
雑収入	7,445	9,587	△2,142
利子収入	221	261	△40
施設利用料	4,542	7,581	△3,039
高額・貸付回収金	0	440	△440
その他	2,682	1,305	1,377
収入合計	1,357,887	1,390,846	△32,959
経常収入(※を除く)	1,315,702	1,353,011	△37,309

(単位：千円)

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
事務所費	60,010	59,576	434
組合会費	481	233	248
保険給付費	664,971	618,991	45,980
法定給付費	637,936	597,863	40,073
付加給付費	27,035	21,128	5,907
拠出金	433,705	475,700	△41,995
老人保健拠出金	208,800	263,237	△54,437
退職者給付拠出金	224,905	212,463	12,442
保健事業費	109,116	120,338	△11,222
還付金	147	286	△139
財政調整事業拠出金※	24,986	26,335	△1,349
連合会費	717	783	△66
積立金	3,000	5,455	△2,455
雑支出	329	661	△332
予備費	0	0	0
支出合計	1,297,462	1,308,358	△10,896
経常支出(※を除く)	1,272,476	1,282,023	△9,547

(単位：千円)

収支差

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
経常収支差額	43,226	70,988	△27,762

(単位：千円)

収入

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
介護保険収入	131,211	115,527	15,684
繰越金	4,897	8,041	△3,144
雑収入	3	3	0
収入合計	136,111	123,571	12,540

(単位：千円)

収支差

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
収支差額	13,248	10,897	2,351

(単位：千円)

介護勘定

支出

科 目	決算額	前年度決算額	増 減
介護納付金	122,840	112,635	10,205
介護保険料還付金	23	39	△16
積立金	0	0	0
支出合計	122,863	112,674	10,189

(単位：千円)

決算基礎数値

一般勘定

項 目	決算数値	前年度数値	増 減
平均被保険者数	3,106人	3,164人	△58人
男	2,641人	2,701人	△60人
女	465人	463人	2人
被扶養者数	3,535人	3,666人	△131人
扶養率	1.14	1.16	△0.02
被保険者平均年齢	42.54才	42.27才	0.27歳
平均標準報酬月額	463,941円	451,581円	12,360円
平均標準賞与額	1,150,772円	1,146,530円	4,242円
保険料率	64/1000	66/1000	△2/1000
事業主	36/1000	37/1000	△1/1000
被保険者	28/1000	29/1000	△1/1000

介護勘定

項 目	決算数値	前年度数値	増 減
平均第2号被保険者数	2,575人	2,594人	△19人
本 人	1,637人	1,636人	1人
家 族	938人	958人	△20人
平均標準報酬月額	571,320円	555,113円	16,207円
平均標準賞与額	1,164,068円	1,190,336円	△26,268円
保険料率	10.0/1000	9.0/1000	1.0/1000
事業主	5.0/1000	4.5/1000	0.5/1000
被保険者	5.0/1000	4.5/1000	0.5/1000

財産目録

項 目	金 額	前年度金額	増 減
法定準備金	310,000	310,000	0
別途積立金	455,676	395,429	60,247
退職積立金	41,000	38,000	3,000
土地	49,800	49,800	0
建物	35,325	36,514	△1,189
その他	2,880	2,781	99
介護準備金	27,000	17,000	10,000
合 計	921,681	849,524	72,157

(単位：千円)



医療制度改革の概要

「健康保険法等改正案」および「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等改正案」を柱とする医療制度改革関連法案は、本年2月10日の国会提出、4月6日の衆院本会議での審議入りを経て、6月14日の参院本会議で成立しました。

これによって、新たな高齢者医療制度の創設をはじめ、保険者の再編統合、医療費適正化の推進などの施策を、順次実施することが決まりました。

改革の内容は多岐に渡りますが、健康保険組合と組合員の皆様に関係する事項を以下に列記します。これら改革は本年10月、来年(平成19年)4月、再来年(平成20年)4月の3段階で施行されます。

平成18年10月施行

- 出産育児一時金を一児30万円から35万円に引き上げ
- 埋葬料を一律5万円に減額
- 現役世代並所得の高齢者の医療費自己負担を2割から3割に引き上げ
- 高額療養費の自己負担限度額を、賞与を含む総報酬に見合う水準に引き上げ(詳細略)

平成19年4月施行

- 標準報酬月額の上限・下限の見直し(39等級から47等級に増加)
- 標準賞与上限を引き上げ
- 任意継続被保険者への傷病手当金および出産手当金の支給を廃止
- 資格喪失後6ヶ月以内の出産への出産手当金の支給を廃止
- 傷病手当金と出産手当金の給付額を、標準報酬日額の6割から3分の2に引き上げ

平成20年4月施行

- 75歳以上を後期高齢者とする独立した医療制度の創設
- 65～74歳を前期高齢者とする財政調整を実施
- 高齢者の医療費自己負担を1割から2割に引き上げ
- 医療費自己負担2割としている乳幼児を、現行の3歳未満から義務教育就学前に拡大
- 40歳以上の被保険者・被扶養者に対する健康診断・保健指導を義務付け



優勝した生産本部-Bチーム

優勝	生産本部-Bチーム
準優勝	SED・SE生産-Bチーム
3位	IEDチーム
	EOD-Aチーム
敢闘賞	新入社員チーム
	JAC-Aチーム
	営業部門チーム

大会運営に協力をいただいた実行委員、同好会各部、ソフトボール部、野球部、水曜会、火曜会、翔曜会の皆様に感謝いたします。大会の結果は上記のとおりでした。

日本電子健康保険組合は昭和41年6月1日に設立して、今般40周年を迎えました。この間の組合運営に携わった多くの先輩達に感謝申し上げます。今後も、組合員の医療・健康に貢献する各種事業を展開してまいります。

なお、40周年記念事業として、母体事業所と共同で「JEOグループ第26回ソフトボール大会を開催いたしました。大会は参加31チームが、5月29日から熱戦を繰り広げ、6月26日の決勝戦にて終了しました。

「設立40周年記念」ソフトボール大会を共同開催

内部監査を実施

健康保険組合は、組合会で決算を認定する前に、監事による内部監査を受けることが義務付けられています。

去る6月14日(水)全一日、鈴木孝治監事・小林政春監事により、組合事務全般にわたる監査を受けました。その結果両監事から組合運営は「規約に従い正しく運営されており、事務執行は「規則に基づき正しく処理されています。」との評価をいただきました。

歯科健康診断を実施します。

被保険者を対象に隔年実施している歯科健康診断を、10月上旬に予定しています。申込み案内は8月に職場ごとに回覧します。歯の健康は全身の健康につながります。この機会にぜひ健診を受けることをお奨めします。

なお、年間を通して行なっている無料の歯科健康診断は、ご家族も受けられます。ぜひ利用ください。詳しくは健保ホームページで紹介しています。



事務担当者講習会を開催

健康保険組合に加入している各事業所には、法令等により各種届出をする義務が定められています。これら届出事務を円滑に行うため、毎年各事業所の事務担当者講習会を行っています。今年は去る6月28日の午後2時～5時、健康談話会議室において講習会を開催しました。当日は12



名の方に参加いただきました。今年は、平成18年10月・平成19年4月・平成20年4月に施行される予定の医療保険制度の改正事項を中心に、適用・給付担当者から説明を行いました。

超音波検診を実施しました

東京地区勤務者を対象にした超音波検診を、昭島地区で7月4・5日、立川で7月10日に実施しました。

男性325人、女性154人が検診を受けました。

検査結果で特に目立ったのが脂肪肝でした。この機会に運動や食事などの生活習慣を見直してみましょ。

公告第264号 事業所所在地の変更

左記の二事業所の所在地変更がありましたので公告します。

記

事業所名 山形クリエティブ株式会社

新所在地 山形県天童市大字山口字大仏1655

変更期日 平成18年4月1日

事業所名 アート電子株式会社

新所在地 東京都国分寺市光町1丁目1番26号

変更期日 平成18年4月1日

組合の現勢 (平成17年6月末現在)

一般保険	介護保険
●被保険者数 3,094名 (男子2,623名 女子471名)	●該当被保険者数 1,640名 (男子1,492名 女子148名)
●被扶養者数 3,465名 (男子1,072名 女子2,393名)	●該当被扶養者数 919名 (男子0名 女子919名)
●平均標準報酬月額 460,762円 (男子493,604円 女子277,868円)	●平均標準報酬月額 566,593円 (男子593,280円 女子297,554円)
●被保険者平均年齢 42.43歳 (男子43.51歳 女子36.43歳)	

編集後記

◆設立40周年記念事業として開催した第26回ソフトボール大会は、雨で中止になったのがたった1日だけで、日程どおり終了することができました。カラ梅雨ではない(むしろ例年以上に日照時間が少ない)今年の気象条件のもとでは奇跡的と言えます。大会事務局によほど行いの良い者がいたのでしょう。

(事務局)